







音だけの世界から「光」と「色彩」を取り戻していく 青年のまなざしが捉える戦争の記憶

幼い頃に視力を失い、手術は成功するも色彩を感じられない20歳の青年、光。彼は、戦後日本を代表する写真家・東松照明の写真に導かれるように長崎へ。そこで自称革命家の友部からドキュメンタリー映画製作に誘われた光は、長崎・沖縄の戦争の痕跡を辿ることになる。道中、祖母から戦争体験を聞いて育った詠美や、沖縄と家族を愛する糸洲など、心に傷を抱えながらたくましく生きる人々との出会いを通して、光の人生は大きく動き出す・・・・・。

生まれて間もなく視力を失った10歳の少年・光(ヒカリ)。

光にとって世界は「音」であり、彼はカセットテープに自分の世界を録音してゆく。 光の眼は手術をすれば視力を得られる可能性があった。母の説得により、手術を 受けることを決意するが・・・。

20歳になった光(眞栄田郷敦)は、東松照明(1930-2012)の写真に強く導かれるように長崎へ。

旅先で出会った自称革命家の男・友部(池内博之)にドキュメンタリー映画製作に 誘われ、長崎・沖縄の戦争の痕跡を辿ることになる。

その中で、心に傷を負いつつもたくましく生きる女・詠美(Awich)、

沖縄を愛し家族を愛する男・糸洲(尚玄)と出会う。

戦争の痛ましい記憶と彼ら3人の生き様は、光の人生を大きく揺さぶり始める。 灼熱の日々の中、光の眼に映るものとは、何か?

そして、51年後の2070年、71歳になった光(加藤雅也)。彼の生きる世界は大きく 変容していた---。

2023年12月公開

監督:半野 喜弘

キャスト: 眞栄田 郷敦 池内 博之

Awich 尚玄 伊藤 正之 加藤 雅也

